

＜ギャラリー夢ロード＞第18回展

＜アートの本棚＞ 二十の扉

2023年5月23日（火）～6月18日（日） 月曜日：休館
13:00～18:00（金曜日は19:00まで）

＜ギャラリー 夢ロード＞（滝部下市中通り 元木本陶器店）
山口県下関市豊北町滝部 835

出品リスト(略目録)

第1の扉 絵葉書の魅力 12冊

- 橋爪紳也『絵はがき100年：近代日本のビジュアル・メディア』毎日新聞社, 2006.
細馬宏通『絵はがきの時代』青土社, 2006.
山田俊幸『アンティーク絵はがきの誘惑』産経新聞出版, 2007.
生田誠『日本の絵はがき 1900-1935：明治生まれのレトロモダン』淡交社, 2006.
日本経済新聞社編刊『美しき日本の絵はがき展：ボストン美術館ローダー・コレクション』
2004.
生田誠『2005 日本絵葉書カタログ』里文出版, 2004.
近藤信行編『震災復興大東京絵はがき』岩波書店, 1993.（ビジュアルブック江戸東京 別
冊）
田中正明編『柳田國男の絵葉書：家族にあてた270通』晶文社, 2005.
中川李枝子文；山脇百合子絵『ぐりとぐら：絵はがきの本』福音館書店, 2005.
「特集 絵葉書道楽」『叢書月刊』弘隆社, 2002年9月.
「特集 絵葉書蒐集家」『叢書月刊』弘隆社, 2003年9月.
「特集 大正抒情イマジユリのデザイン・シーン」『叢書月刊』弘隆社, 2005年10・11月.

第2の扉 工芸とデザイン 21冊

- 白洲正子『日本のたくみ』新潮社, 1984.（新潮文庫）
長田謙一等編『近代日本デザイン史』美学出版, 2006.（美学叢書 3）
樋田豊次郎『工芸の領分：工芸には生活感情が封印されている』新装版, 美学出版, 2006.
樋田豊次郎『工芸家「伝統」の生産者』美学出版, 2004.（工芸意匠選書 1）
秋元雄史『工芸未来派：アート化する新しい工芸』六曜社, 2016.
栗津潔『デザインの発見』三一書房, 1966.
佐藤玲子等編『戦後デザイン運動の原点：デザインコミッティーの人々とその軌跡』川崎
市岡本太郎美術館；香川県立ミュージアム, 2021.
永井一正『長井一正 POSTER LIFE』青幻舎, 2014.
利光功『ハウハウス：歴史と理念』記念版, マイブックサービス, 2019.

森仁史編『デザインの揺籃時代展：東京高等工芸学校の歩み 1』松戸市教育委員会, 1996.
大橋香奈；大橋裕太郎『フィンランドで見つけた「学びのデザイン」：豊かな人生をかたちにする 19 の実践』フィルムアート社, 2011.
伊藤鮎等編『フィンランドの暮らしとデザイン：ムーミンが住む森の生活』キュレーターズ, 2012.
「特集 タイポグラフィの学び方」『デザインの現場』美術出版社, 2004.4.
原清責任編集『第 47 回 伝統工芸展図録』日本伝統工芸展実行委員会, 2000.
朝日新聞社事業本部文化事業部編『わざの美：日本伝統工芸展 50 周年記念展』2003.
東京都現代美術館等編『ISSEY MIYAKE Making Things』東京都現代美術館, 2000.
『柚木沙弥郎：つくること、生きること』平凡社, 2021. (別冊太陽スペシャル)
日本経済新聞社編『マイセン陶磁 300 年展』1980.
久間龍治;山本明子編『ボヘミアン・グラス 600 百年の輝き：古都に咲いた華展』日本テレビ放送網, 1994.
『アール・デコ 光の造形』ルネ・ラリック美術館, 1992. (ルネ・ラリック美術館ガラス・コレクション選集)
Bernsen, Jens.” Hans J. Wegner” . Danish Design Center, 1995. [日本語併記]

第3の扉 杉浦日向子の漫画 13冊

杉浦日向子『合葬』筑摩書房, 1987. (ちくま文庫)
杉浦日向子『糸ひもせず』筑摩書房, 1990. (ちくま文庫)
杉浦日向子『ニッポニア・ニッポン』筑摩書房, 1991. (ちくま文庫)
杉浦日向子『とんでもねえ野郎』筑摩書房, 1995. (ちくま文庫)
杉浦日向子『百日紅 上』筑摩書房, 1996. (ちくま文庫)
杉浦日向子『百日紅 下』筑摩書房, 1996. (ちくま文庫)
杉浦日向子『二つ枕』筑摩書房, 1997. (ちくま文庫)
杉浦日向子『YASUJI 東京』筑摩書房, 2000. (ちくま文庫)
杉浦日向子『百物語 上之巻』小池書院, 2009.
杉浦日向子『百物語 下之巻』小池書院, 2009.
『総特集 杉浦日向子』青土社, 2008. (ユリイカ 2008.10 月臨時増刊号)
『杉浦日向子 江戸の旅人：没後 10 周年記念特集』河出書房新社, 2015. (文藝 別冊 KAWADE 夢ムック)

第4の扉 寄席 10冊

安藤鶴夫『寄席紳士録』角川書店, 1969. (角川文庫)
安藤鶴夫『巷談本牧亭』角川書店, 1969. (角川文庫)
古今亭志ん生『びんぼう自慢』立花書房, 1969.
古今亭志ん生『志ん生廓ばなし』立花書房, 1970.
古今亭志ん生『古典落語志ん生集』筑摩書房, 1989.
『私のこだわり人物伝：美空ひばり 古今亭志ん生』日本放送出版協会, 2005. (NHK 知るを楽しむ)
『古典落語 志ん生大全集：コロムビア創立六十周年記念 別冊解説』日本コロムビア, 1970.
笑点探偵団『笑点の謎』河出書房新社, 2001.
日本テレビ編著『笑点絵はがきコレクション』日本テレビ放送網, 2002.

第5の扉 映画の考古学・アニメーション 13冊

- ツェーラム, C. W.: 月村訳『映画の考古学』再版. フィルムアート社, 1994.
岩本憲児『幻燈の世紀：映画前夜の視覚文化史』森話社, 2002.
古賀重樹『1秒24コマの美：黒澤明・小津安二郎・溝口健二』日本経済新聞出版社, 2010.
小松弘『起源の映画』青土社, 1991.
東京都写真美術館編刊『イマジネーションの表現』1995. (総合開館記念展 映像工夫館展 テーマ1)
東京都写真美術館編刊『アニメーション』1995. (映像工夫館展 テーマ2)
森山朋絵編『ニメーションズ：過去から未来へ』東京都写真美術館, 1999.
森山朋絵企画・編『映像体験ミュージアム：イマジネーションの未来へ』工作舎, 2002.
岡村恵子編『イマジネーション：視覚と知覚を超える旅』東京都写真美術館, 2008. (映像をめぐる冒険 1)
仲俣暁生編『メモリアルブック「日本の表現力：文化庁メディア芸術祭」10周年企画展』文化庁メディア芸術祭事務局, 2007.
久里洋二『ボクのつびやき自伝@yojikuri』新潮社, 2012.
山村浩二『カラー版 アニメーションの世界へようこそ』岩波書店, 2006. (岩波ジュニア新書)
朝日新聞社編刊『新海誠展：「ほしのこえ」から「君の名は。」まで』2017.

第6の扉 絵巻と屏風絵 15冊

- 秋山光和『絵巻物』小学館, 1968. (原色日本の美術 8)
東京国立博物館；朝日新聞社編『特別展 鳥獣戯画：京都 高山寺の至宝』朝日新聞社, 2015.
東京国立博物館等編『特別展 国宝鳥獣戯画のすべて』NHK等, 2021.
東京国立博物館；京都国立博物館編『ボストン美術館所蔵 日本絵画名品展図録』日本テレビ放送網, 1983.
辻惟雄『岩佐又兵衛』至文堂, 1987. (日本の美術 12)
広瀬麻美等編『奇想の系譜展：江戸絵画ミラクルワールド』日本経済新聞社等, 2019.
日本経済新聞社編刊『ボストン美術館秘蔵 日本近世屏風絵名作展』1981.
東京国立博物館；日本テレビ放送網編『特別展 京都：洛中洛外図と障壁画の美』日本テレビ放送網, 2013.
出光美術館編刊『新発見 長谷川等伯の美』2005.
東京国立博物館等編『没後400年 長谷川等伯』毎日新聞社等, 2010.
『創立百年記念特別展 琳派 目録』東京国立博物館, 1972.
出光美術館編刊『国宝 風神雷神図屏風：宗達・光琳・抱一 琳派芸術の継承と創造』2006.
出光美術館編刊『琳派芸術の継承と創造』2006. (『国宝 風神雷神図屏風』展図録別冊)
古田亮；中村麗子編『琳派 RIMPA』東京国立近代美術館；東京新聞, 2004.
東京国立近代美術館等編『菱田春草展』日本経済新聞社等, 2014.

第7の扉 パブリックアート 20冊

- 竹田直樹『パブリックアート入門：自治体の彫刻設置を考える』公人の友社, 1993. (地方自治ジャーナルブックレット 7)
山岡義典編著『パブリックアートは幸せか』公人の友社, 1994. (地方自治ジャーナルブ

ックレット 11)

吉崎元章等編『「空間に生きる：日本のパブリックアート」展』『空間に生きる：日本のパブリックアート』展開催実行委員会；空間造形コンサルタント, 2006.

グルー, カトリーヌ；藤原訳『都市空間の芸術：パブリックアートの現在』鹿島出版会, 1997.

樋口正一郎『都市と彫刻：欧米にみる公園・広場と街づくり』鹿島出版会, 1994.

樋口正一郎『都市景観と造形の未来』鹿島出版会, 1997.

佐藤曠一編著『東京・街角のアート探訪：散策しながら自由に楽しむ！ 1 都心編』日貿出版社, 2006.

佐藤曠一編著『東京・街角のアート探訪：散策しながら自由に楽しむ！ 3 城西編』日貿出版社, 2006.

森司編『クリスト展』水戸芸術館現代美術ギャラリー, 1991.

Yanagi Masahiko 編『クリスト展 CHRISTO: works from the 80s and 90s』アート・フロント・ギャラリー, 1993.

窪田研二編『「カフェ・イン・ミト」記録集』水戸芸術館現代美術センター, 2002. (展覧会資料 55)

山野慎悟等編『ミュージアム・シティ・プロジェクト 1990-200X: 福岡の「まち」に出たアートの10年』ミュージアム・シティ・プロジェクト出版部, 2003.

雨引の里と彫刻実行委員会編刊『雨引の里と彫刻 2006 図録』2006.

立川国際芸術祭 2001 実行委員会編『世界の人々と友だちになろう！新しいまちづくり・立川国際芸術祭 2001 の記録』現代企画室, 2002.

越後妻有大地の芸術祭実行委員会編刊『大地の芸術祭：越後妻有アートトリエンナーレ 2000』2001.

『イリヤ/エミリア・カバコフ「棚田」：大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ』現代企画室, 2000.

大地の芸術祭東京事務局編『大地の芸術祭：越後妻有アートトリエンナーレ 2006』現代企画室, 2007.

大地の芸術祭東京事務局編『大地の芸術祭：越後妻有アートトリエンナーレ 2009』越後妻有里山協働機構, 2010.

北川フラム『希望の美術・協働の夢：北川フラムの40年 1965-2004』角川学芸出版, 2005.

北川フラム『大地の芸術祭』角川学芸出版, 2010.

第8の扉 イメージの 14冊

コメニウス, J.A.; 井ノ口訳『世界図絵』ミネルヴァ書房, 1988.

ミジェリンスカ, アレクサンドラ; ミジェリンスキ, ダニエル作・絵『マップス：新世界図絵』徳間書店, 2014.

鷲見洋一『『百科全書』と世界図絵』岩波書店, 2009.

橋本毅彦『描かれた技術 科学のかたち：サイエンス・イコノロジーの世界』東京大学出版会, 2008.

田中純『イメージの自然史：天使から貝殻まで』羽鳥書店, 2010.

ブルネッタ, ジャン・ピエロ; 川本訳『ヨーロッパ視覚文化史』東洋書林, 2010.

種村季弘; 高柳篤『だまし絵』河出書房新社, 1987. (新版・遊びの百科全書 2)

バーチャー, ジョン; 伊藤訳『イメージ：視覚とメディア』PARCO出版, 1986.

バーチャー, ジョン; 笠原訳『見るということ』筑摩書房, 2005. (ちくま学芸文庫)

若桑みどり『イメージを読む：美術史入門』筑摩書房，1993.
木村三郎『名画を読み解くアトリビュート』淡交社，2002.
吉田城編著『テキストからイメージへ：文学と視覚芸術の間』京都大学学術出版会，2002.
港千尋『洞窟へ：心とイメージのアルケオロジー』せりか書房，2001.
アヴェニ，アンソニー・F.：武井訳『ナスカ 地上絵の謎：砂漠からのメッセージ』創元社，2006.

第9の扉 巴里・パリ写真 24冊

コンポー，イヴァン；小林訳『パリの歴史』新版，白水社，2002。（文庫クセジュ）
堀井敏夫『パリ史の裏通り』白水社，1984.
渡辺守章『パリ感覚：都市を読む』岩波書店，1985。（旅とトポスの精神史）
福井憲彦；稲葉宏爾編『パリ 建築と都市』山川出版社，2003。（世界歴史の旅）
荒俣宏『パリ・奇想の20世紀』日本放送出版協会，2000。（NHK人間講座）
バルト，ロラン；宋・諸田訳『エッフェル塔』筑摩書房，1997。（ちくま学芸文庫）
北河大次郎『近代都市パリの誕生：鉄道・メトロ時代の熱狂』河出書房新社，2010。（河出ブックス）
北嶋廣敏『パリの橋』グラフ社，1984.
『パリ物語 上』世界文化社，1988。（世界美術の旅 1）
『パリ物語 下』世界文化社，1988。（世界美術の旅 2）
宮下志朗『読書の首都パリ』みすず書房，1998.
モニエ，アドリエヌ；岩崎訳『オデオン通り：アドリエヌ・モニエの書店』河出書房新社，1975.
ジュウ・ドゥ・ポウム著・刊『パリの本屋さん』2008.
モンタランベール，アンヌ・ド；メゾン・ド・ミュゼ・ド・フランス訳『パリのミュゼたち：侯爵夫人おすすめの個性派美術館』大日本印刷，2012.
戸塚真弓『パリ 住み方の記』講談社，1991.
今橋映子『＜パリ写真＞の世紀』白水社，2003.
鈴木佳子；石田哲朗編『アジェのインスピレーション：ひきつがれる精神』東京都写真美術館，2017。（TOP Collection）
『I love Paris<J' aime la France>展図録』ゴローインターナショナルプレス，1992.
岩宮武二編『アンリ・カルティエ＝ブレッソン コレクション図録』大阪芸術大学，1979.
Henri Cartier-Bresson: l' exposition. Centre Pompidou, 2014.
『ドアノー写真集 1 パリ』リプロポート，1992.
Hamilton, Peter. *Robert Doisneau: retrospective*. Hoebeke, 1995.
筑摩書房編刊『パリ・グラフィック：ロートレックとアートになった版画・ポスター展』2017.
ドゥーシェ，ジャン；ナドー，シル；梅本訳『パリ，シネマ』フィルムアート社，1989.

第10の扉 ルーヴル 11冊

ブレスク，ジュヌヴィエーヴ；遠藤訳『ルーヴル美術館の歴史』創元社，2004。（「知の再発見」双書）
小島英熙『ルーヴル・美と権力の物語』丸善，1994。（丸善ライブラリー）
ソレルス，フィリップ；菅野訳『ルーヴルの騎手』集英社，1998.
ラング，ジャック；塩谷訳『ルーヴル美術館の闘い：グラン・ルーヴル誕生をめぐる攻防』

- 未来社, 2013.
- 赤瀬川原平; 熊瀬川紀 『ルーヴル美術館の楽しみ方』 新潮社, 1991. (とんぼの本)
『Louvre 主要作品』 Editions de la Réunion des musées nationaux, 1990.
Masterpieces of the Louvre. Connaissances des arts, 2008.
- Sellier, Marie; Bouvet=Lanselle, Violaine. *Wonders of the Louvre*. Editions de la Réunion des musées nationaux, 1999.
- McArthur, Seonaid; Lagier, Valérie. *Discover The Louvre together*. Gallimard, 2006.
- 幸福輝等編 『ルーヴル美術館展：17世紀ヨーロッパ絵画』 日本テレビ放送網, 2009.
『特集 パリと骨董 特別レポート ルーヴル美術館と子どもたち』 新潮社, 2009. (芸術新潮 2009年4月号)

第11の扉 ル・コルビュジエ 11冊

- ジャンジェ, ジャン; 遠藤訳 『ル・コルビュジエ：終わりなき挑戦の日々』 創元社, 2006.
(「知の再発見」双書)
- ル・コルビュジエ; 生田・樋口訳 『伽藍が白かったとき』 岩波書店, 2007. (岩波文庫)
- ル・コルビュジエ; オトレ, ポール; 山名・桑田訳 『ムンダネウム』 筑摩書房, 2009.
『特集 ル・コルビュジエ：美術と建築のマリアージュ』 美術出版社, 2007. (美術手帳 2007年6月号)
- 南明日香 『ル・コルビュジエは生きている：保存、再生そして世界遺産へ』 王国社, 2011.
Vigne, Antoine; Bone, Betty. *Le Corbusier in his own words*. Papadakis, 2009.
- 南條史生等編 『ル・コルビュジエ：建築とアート、その創造の軌跡』 リミックスポイント, 2007.
- 寺島洋子編 『ル・コルビュジエと国立西洋美術館 開館50周年記念』 国立西洋美術館; 西洋美術振興財団, 2009.
Le Corbusier & the National Museum of Western Art: English text. National Museum of Western Art, 2009.
- 『特集 開館50周年 なるか、世界遺産 国立西洋美術館のすべて』 新潮社, 2009. (芸術新潮 2009年2月号)
- 藤木忠善 『ル・コルビュジエの国立西洋美術館』 鹿島出版会, 2011

第12の扉 大伽藍 15冊

- ユゴー, ヴィクトル; 辻、松下訳 『ノートルダム・ド・パリ』 潮出版社, 2000. (ヴィクトル・ユゴー文学館 5)
- *坂野正則編 『パリ・ノートル=ダム大聖堂の伝統と再生：歴史・信仰・空間から考える』 勉誠出版, 2021. [*特別展示]
- 鹿島茂 『ユゴー ノートル=ダム・ド・パリ』 NHK出版, 2018. (NHK100分で名著)
- Daly, Jean テキスト; Audy, Olivier イラスト; 長谷川訳 『パリを物語る建物たち』 PARIGRAMME, 2001.
『大特集 パリ 中世の美と出会う五日間』 新潮社, 2006. (芸術新潮 2006年3月号)
『ノートルダム 炎の大聖堂』 東宝, 2023. (ジャン=ジャック・アノー監督映画パンフレット)
- バタイユ, ジョルジュ; 酒井訳 『ランスの大聖堂』 筑摩書房, 2005. (ちくま学芸文庫)
- ユイスマンス; 出口訳 『大伽藍』 平凡社, 1995. (平凡社ライブラリー)

- ミラー, マルコム『シャルトル大聖堂』2 ed. PITKIN, 1996.
 Pickard, Charles. "Chartres", Ouest-France, [n.d.]
 Giusti, Annamaria. "ストラスブール", Bonechi, 1998.
 Lehni, Roger "La cathédrale de Strasbourg", La Goélette, 2010.
 カーニョ, ガブリエッラ・ディ『フィレンツェ大聖堂 洗礼堂と鐘楼』La Mandragora, 1994.
 カーヴァー, レイモンド; 村上訳『大聖堂』中央公論社, 1990. (The complete works of Raymond Carver 3)
 ラベール, ネリー; セール, ベネディクト; 高名訳『100 語でわかる西欧中世』白水社, 2014. (文庫クセジュ)

第 13 の扉 澁澤龍彦は誰か 10 冊

- 澁澤龍彦『エロティシズム』中央公論社, 1984. (中公文庫)
 澁澤龍彦『エロスの人間』中央公論社, 1984. (中公文庫)
 澁澤龍彦『少女コレクション序説』中央公論社, 1985. (中公文庫)
 澁澤龍彦『玩具草子』中央公論社, 1986. (中公文庫)
 澁澤龍彦『サド復活』日本文芸社, 1989.
 澁澤龍彦『幻想の画廊から』新版. 青土社, 1998.
 巖谷國土監修・著『澁澤龍彦 幻想美術館』平凡社, 2007.
 国書刊行会編集部編『夢の宇宙誌 澁澤龍彦蔵書目録』国書刊行会, 2006.
 澁澤龍彦; 澁澤龍子編; 沢渡朔写真『澁澤龍彦 ドラコニア・ワールド』集英社, 2010. (集英社新書 ヴィジュアル版)
 四谷シモン等『澁澤龍彦 眼の宇宙 / 白洲正子 目利きの肖像』NHK 放送出版協会, 2007. (NHK 知るを楽しむ 私のこだわり人物伝)

第 14 の扉 大江健三郎 12 冊

- 大江健三郎『大江健三郎全作品 1』新潮社, 1966.
 大江健三郎『大江健三郎全作品 2』新潮社, 1966.
 大江健三郎『大江健三郎全作品 3』新潮社, 1966.
 大江健三郎『大江健三郎全作品 4』新潮社, 1966
 大江健三郎『大江健三郎全作品 5』新潮社, 1967.
 大江健三郎『大江健三郎全作品 6』新潮社, 1966
 大江健三郎『万延元年のフットボール』講談社, 1967..
 大江健三郎『われらの狂気を生き延びる道を教えよ』新潮社, 1969
 大江健三郎『同時代ゲーム』新潮社, 1984
 大江健三郎『僕が本当に若かった頃』講談社, 1996. (講談社文芸文庫)
 大江健三郎『二百年の子供』中央公論新社, 2003.
 大江健三郎『沖縄ノート』岩波書店, 1970. (岩波新書)

第 15 の扉 メディアをめぐる 18 冊

- マクルーハン, M.; 栗原・河本訳『メディア論: 人間の拡張の諸相』みすず書房, 1987.
 マクルーハン, マーシャル; フィオーレ, クエンティン; 南訳『メディアはマッサージである』河出書房新社, 1995.

- 吉見俊哉；水越伸『メディア論』放送大学教育振興会，1997。（放送大学教材）
- 水越伸『21世紀メディア論』改定版。放送大学教育振興会，2014。（放送大学大学院教材）
- 鈴木みどり編『メディア・リテラシーを学ぶために』世界思想社，1997。
- 菅野明子『メディア・リテラシー』岩波書店，2000。（岩波新書）
- 東京大学情報学環メルプロジェクト；日本民間放送連盟編『メディアリテラシーの道宝箱：テレビを見る・つくる・読む』東京大学出版会，2005。
- 内田樹『街場のメディア論』光文社，2010。（光文社新書）
- 山川正光『やさしいメディア技術発達史読本』日刊工業新聞社，1990。
- 斉藤嘉博『メディアの技術史：洞窟画からインターネットへ』東京電機大学出版局，1999。
- むのたけし『99歳一日一言』岩波書店，2013。（岩波新書）
- 倉田喜弘『日本レコード文化史』東京書籍，1992。（東書選書）
- 竹山昭子『ラジオの時代：ラジオは茶の間の主役だった』世界思想社，2002。
- 『特集 ラジオのひろば』彷徨舎，2005。（彷徨月刊 2005年5月号）
- 原麻里子；柴山哲也編著『公共放送BBCの研究』ミネルヴァ書房，2011。
- 早稲田大学ジャーナリズム教育研究所；放送番組センター共編『放送番組で読み解く社会的記憶：ジャーナリズム・リテラシー教育への活用』日外アソシエーツ，2012。
- オグ，エマニュエル；西訳『世界最大映像アーカイブ INA（イナ）』白水社，2007。（文庫クセジュ）
- 國谷裕子『キャスターという仕事』岩波書店，2017。（岩波新書）

第16の扉 キューバ 11冊

- 地球の歩き方編集室編『地球の歩き方 76 カリブ海Ⅱ [キューバ他] '94～95 年度版』第2版。ダイヤモンド・ビッグ社，1994。
- 『キューバ国立美術館名作展カタログ』東京富士美術館，1997。
- 大須賀猛編『ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブとキューバ音楽の手帖』水声社，2000。
- 吉田太郎『世界がキューバ医療を手本にするわけ』築地書館，2007。
- Corrales, Raul et. al. *Cuba: la fotografia de los anos 60*. Fototeca de Cuba, 1988. (Coleccion Caliban)
- コルミエ，ジャン；松永訳『チェ・ゲバラ：命を生きる』創元社，2004。（「知の再発見」双書）
- ドブレ，レジス；谷口訳『革命の中の革命』晶文社，1967。（晶文選書）
- ドブレ，レジス；安部訳『ゲバラ 最後の闘い』新版。新泉社，1988。
- 戸井十月等『チェ・ゲバラ：革命への旅 / 久世光彦：昭和を愛した不良』NHK放送出版協会，2007。（NHK知るを楽しむ 私のこだわり人物伝）
- コルダ，アルベルト写真；サルスキー，ハイメ；太田昌国文；棚橋訳『コルダ写真集：エルネスト・チェ・ゲバラとその時代』現代企画室，1998。
- Che Guevara: ¡Hasta la Victoria siempre!*. Tushita, 2007. (Calendar)

第17の扉 ジャズ 13冊

- ベーレント；油井訳『ジャズ：その歴史と鑑賞』誠文堂新光社，1965。
- ジョーンズ，リロイ；上林訳『ブルースの魂：白いアメリカの黒い音楽』音楽之友社，1965。
- 木島始『詩・黒人・ジャズ』晶文社，1965。
- 平岡正明『ジャズ宣言』イザラ書房，1969。

200 CD ジャズ入門編集委員会編『200 CD ジャズ入門：聴き方、選び方マスターガイド』学習研究社, 2004.

モラスキー, マイク『戦後日本のジャズ文化：映画・文学・アングラ』青土社, 2005.

菊地成孔等『マイルス・デイビス：帝王のマジック / オードリー・ヘップバーン：永遠のアイドル』NHK 放送出版協会, 2007. (NHK 知るを楽しむ 私のこだわり人物伝)

藤岡靖洋『コルトレーン』岩波書店, 2011. (岩波新書)

『ジョン・コルトレーン』河出書房新社, 2012. (文藝別冊 KAWADE 夢ムック)

『秋吉敏子：私のジャズ物語 ロング・イエロー・ロード』NHK 放送出版協会, 2004. (NHK 人間講座)

『特集 150 号記念特別号』ジャズ批評社, 2009. (ジャズ批評 2009 年 7 月号)

『20 世紀ジャズ名曲大事典』スイングジャーナル社, 2001. (Swing Journal 2001 年 5 月臨時増刊)

マーシュ, グラハム等；行方訳『ブルーノート アルバム・カバー・アート』美術出版社, 1991.

第 18 の扉 レオポルド・ショヴォーの絵物語

16 冊

ショヴォー, レオポール原作；山本訳『年を歴た鱷の話』文藝春秋, 2003.

ショヴォー, レオポール原作原画；出口原訳；山村浩二文・絵『The old crocodile —— 年をとった鱷』プチグラパブリッシング, 2006.

ショヴォー, レオポール；高岳訳『いつまでも、鱷』文遊社, 2006.

ショヴォー, レオポルド文・絵；出口訳『年をとったワニの話』福音館書店, 1986. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 1)

ショヴォー, レオポルド文・絵；出口訳『子どもを食べる大きな木の話』福音館書店, 1986. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 2)

ショヴォー, レオポルド文・絵；出口訳『名医ポポタムの話』福音館書店, 1987. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 3)

ショヴォー, レオポルド文・絵；出口訳『いっすんぼうしの話』福音館書店, 1986. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 4)

ショヴォー, レオポルド文・絵；出口訳『ふたりはいい勝負』福音館書店, 1987. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 5)

ショヴォー, レオポルド；出口訳『年をとったワニの話』福音館書店, 2002. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 1 福音館文庫)

ショヴォー, レオポルド；出口訳『子どもを食べる大きな木の話』福音館書店, 2003. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 2 福音館文庫)

ショヴォー, レオポルド；出口訳『名医ポポタムの話』福音館書店, 2003. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 3 福音館文庫)

ショヴォー, レオポルド；出口訳『いっすんぼうしの話』福音館書店, 2003. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 4 福音館文庫)

ショヴォー, レオポルド；出口訳『ふたりはいい勝負』福音館書店, 2003. (ショヴォー氏とルノー君のお話集 5 福音館文庫)

鈴木等訳『狐物語』岩波書店, 2002. (岩波文庫)

ショヴォー, レオポルド編；山脇訳/絵『きつねのルナール』福音館書店, 2002.

ショヴォー, レオポルド編・画；山脇訳『狐物語』福音館書店, 2015.

- 『自然の秘密を探る：特別展 高島北海没後 90 年記念』下関市立美術館, 2021.
- 香月泰男『香月泰男画文集 <私の>地球』求龍堂, 1998.
- 広中建次『香月泰男』山口新聞, 2001.
- 香月泰男等『香月泰男のおもちゃ箱』新潮社, 2003.
- 『香月泰男：<私の地球>を描き続けた』新潮社, 2011. (別冊太陽 日本のこころ 188)
- 中野優子等企画・編『香月泰男 おもちゃの世界』香月泰男美術館, 2014.
- 安井雄一郎『香月泰男 凍土の断層：「シベリア・シリーズ」を読み解く』東京美術, 2017.
- 下関市立美術館編刊『殿敷侃：遺されたメッセージ・アートから社会へ』1993.
- 黒川典是編『殿敷侃：逆流の生まれるところ』grambooks, 2017.
- 名井玲編刊『名井玲画集 1945-1995』1996.
- 山口県教育庁文化課編『伝統の萩焼と高麗茶碗・古萩』伝統の萩焼と高麗茶碗・古萩名品展実行委員会, 1975.
- 金子みすゞ『星とたんぼぼ』金の星社, 2005. (金子みすゞ詩の絵本 みすゞこれくしょん)
- 『特別企画展 書物の在る処：中原中也詩集とブックデザイン』中原中也記念館, 2021.
- 町田康等『中原中也：口惜しき人 / 阿久悠：時を刻んだ詞』日本放送出版協会, 2008. (NHK 知るを楽しむ 私のこだわり人物伝)
- 高樹のぶ子『億夜』講談社, 1995.
- 田中慎弥『共喰い』集英社, 2013. (集英社文庫)
- 宮本常一『忘れられた日本人』岩波書店, 1984. (岩波文庫)
- 網野善彦『宮本常一『忘れられた日本人』を読む』岩波書店, 2013. (岩波現代文庫)
- 佐野眞一『宮本常一が見た日本』日本放送出版協会, 2000. (NHK 人間講座)
- 佐野眞一『宮本常一の写真に読む 失われた昭和』平凡社, 2004.
- 下関市立美術館編刊『生誕 100 年 藤田隆治展』2007.
- 井田敏『もう一人のフジタ：メダリスト画家・藤田隆治』「もう一人のフジタ」刊行委員会, 1994.
- 落合朋子編『堀晃展：ソナ風ガ吹クカラ、』北九州市立美術館, 2008.
- 堀茂美編『堀晃絵画作品集 空ガ満チルトキ』堀晃, 2016.
- 堀晃『今夜も眠れない この島で：奄美からの手紙・・・』新日本教育図書, 2008.
- 堀晃『ソのマーチ』新日本教育図書, 2011.
- 堀晃『夜明けの晩に：アマミアンナイト』瞬報社写真印刷, 2012.
- 吉岡一生写真『本を選ぶ日』吉岡一生, 2010.
- 岡昌子編『雲遊の尼 田上菊舎：生誕 250 年記念』菊舎顕彰会, 2003.
- 小西常七絵・文『明治・大正長州北浦風俗絵巻』マツノ書店, 1976.
- 長周新聞社編刊『人民勝利の記録：豊北原発阻止闘争の理論と実践 つぶせ豊北原発 1977-1978』1978.
- 山秋真『原発をつくらせない人びと：祝島から未来へ』岩波書店, 2012. (岩波新書)
- 阿部和正等編『図録 豊北の街道』豊北郷土文化友の会, 2015.
- 下関市立豊北歴史民俗資料館編刊『中山太一と郷土：大正モダニズムと地域教育 下関市立豊北歴史民俗資料館開館記念特別展 中山太一生誕 130 年記念 復元 旧滝部小学校』2011.
- 熊井清雄『東洋の化粧王と呼ばれた 中山太一兄弟伝』豊北郷土文化友の会, 2015.
- 高殿円『コスメの王様』小学館, 2022.

- 『武蔵野美術大学美術資料図書館開館記念 日本＝ドイツ＝スイス学生合同作品展』武蔵野美術大学, 1967.
- 『学生必携 昭和49年度』武蔵野美術大学・武蔵野美術短期大学, 1974
- 『武蔵野美術大学研究紀要』no.18. 武蔵野美術大学・武蔵野美術短期大学, 1987.
- 武蔵野美術大学出版編集室編『現代デザインの水脈：ウルム造形大学展図録』武蔵野美術大学, 1989.
- 『キルコス 武蔵野美術大学美術資料図書館ニュース』武蔵野美術大学美術資料図書館, 1990-1998. [創刊0号, 6-14, 17]
- 『キルコス 武蔵野美術大学美術資料図書館 利用案内』武蔵野美術大学美術資料図書館, [刊年不明]
- 高見堅四郎責任編集『季刊武蔵野美術』No.82. 武蔵野美術大学, 1991.
- 本庄美千代等編『DOCUMENT MAU M&L/L 武蔵野美術大学美術館・図書館 図書館棟落成記念』武蔵野美術大学 美術館・図書館, 2010. (別冊 KALEO)
- 寺山祐策等編『博物図譜とデジタルアーカイブ I 武蔵野美術大学 美術館・図書館新棟落成記念』武蔵野美術大学美術館・図書館；武蔵野美術大学造形研究センター, 2010.
- 朝日新聞社文化企画局企画第一部編刊『画業60年記念 塩出英雄展』1991.
- 神奈川県立近代美術館編刊『西雅秋展 空と大地と記憶の造形』2005.
- Masayoshi YAMADA *Mediterranean/années*. Villa Tamaris Centre d'art, 2009.
- 山崎博；東京都写真美術館編『山崎博 計画と偶然』武蔵野美術大学出版局, 2017.
- 水尾比呂志『東洋の美学』美術出版社, 1963. (美術選書)
- 岡部あおみ『アート・シード：ポンピドゥー・センター美術映像ネットワーク』リプロポート, 1993.
- 岡部あおみ『ポンピドゥー・センター物語』紀伊國屋書店, 1997.
- 岡部あおみ等『ミュゼオロジー入門』武蔵野美術大学出版局, 2002.
- 伊東正伸等『アートマネジメント』武蔵野美術大学出版局, 2003.
- 岡部あおみ監修；青木正弘等『ミュゼオロジー実践篇：ミュージアムの世界へ』武蔵野美術大学出版局, 2003. 2003.
- 室谷泰三；堀越洋一郎編『データベース』武蔵野美術大学出版局,
- 岡部あおみ編著『アートが知りたい：本音のミュゼオロジー』武蔵野美術大学出版局, 2005.
- 岡部あおみ監修；白石美雪等『芸術と性差：武蔵野美術大学ジェンダーリサーチ共同研究論文集』武蔵野美術大学芸術文化学科研究室, 2006.
- 赤瀬川原平『芸術原論』岩波書店, 2006. (岩波現代文庫)
- 森山明子『デザイン・ジャーナリズム：取材と共謀 1987-2015』美学出版, 2015.
- 村上龍；はまのゆか絵『13歳の進路』幻冬舎, 2010.

計 320冊

北高夢ロード実行委員会

〒759-5511 山口県下関市豊北町滝部 856-9

<http://yumeroad.org>E-mail: kitakoyumeroad@gmail.com

2 ed. 2023.6 .18